

# ごはんのしつけ

患者さんのお話の中で、必ずといっていいほど話題になるごはんについて。気が付いたことをまとめました。

こんなことはありませんか？



ごはんは毎日食べるものです。肥満、肝臓、腎臓などの病気を予防するためにも気を付けてあげましょう

**ごはんを食べません。** 診察しても、体重や元気は変わらないのに、どうしてでしょうか？

## おやつは食べますか？普段からおやつを与えていますか？

人間からみたら、小さなビスケット一つですが、犬にとっては・・・。お腹がすいていないからごはんを食べないのかも。おやつで必要なカロリーをとってしまっていないか？



## 人間のごはんを食べていませんか？

『ご飯中に欲しそうにみているから、ちょっとだけ・・・』そのちょっとは、犬猫にとってはちょっとじゃないんです。濃い味や強いにおいの刺激に慣れてしまっていたり、間食で必要なカロリーをとってしまっているかもしれません。

## フードは適量を量って与えていますか？

目分量で与えている場合は、与えすぎになっているのかも。カップに印をつけるなどして毎回量らなくても正しい量で与えられるようにしておくとお楽です。また、フードは体重に対して量が決まっているため、体重測定も定期的にしてあげると良いですね。

動物は嗅覚で食事をします。フードに強いにおいのものを加えて与えると、満腹でも食べ過ぎてしまうので注意が必要です。

※病気や体調不良で食欲が落ちるということは多々あります。何も口にしない、元気がない、下痢や嘔吐があるなどの時には診察に来てください。



**フードがあきちゃったみたい。** いつものフードは残すのに別のものを欲しがると・・・欲しがるものを与えても良いのでしょうか？

## かわいから、一口だけ、と人間の食べ物を与えたいしていませんか？

人間の食べ物の中には、ペットに与えてはいけなものがたくさんあります！フード以外のものを食べる癖があると、人間の食べ物で犬猫が食べてはいけなものを誤って食べてしまうことも。



## 食べてはいけなものがたくさんあります。

代表的なものとしては、ネギ類（玉ネギ、長ネギ、ニラなど）、カカオ類（チョコレート、ココアなど）、ニンニク、甲殻類、貝類、スルメなど。ナッツ類やアボガドなども良くないと言われています。

また、牛乳でおなかを壊す子もいます。

人間用の医療品、栄養補助食品、サプリメントなどは誤飲の症状が多岐にわたるため特に注意が必要です。

**手作りのフードの方がいいの？** おやつや、フードのふりかけはあまりよくないみたいだし、フードだけではなんだか味気ないような・・・？

## 先々のことやバランスのことを考えるとフードの方が良いでしょう。

たしかに手作りごはんはとても理想的です。

愛犬、愛猫に毎日ずっとバランスの完璧なごはんを作り続けることができればいいですが、それはとても負担になりますし現実的ではありません。

ペットホテルや人に預けることもあるでしょうし、入院なんてこともあり得ることで。そんな時に、フードを食べなれていないと環境の変化とともに大変なストレスになります。

そんな時に、先々のことも考えると、バランスの取れたよいフードを与えることが理想的です。



病院では、症状に合わせた処方食や毎日の栄養相談にも応じております。お気軽に声をおかけください。